

神戸市感染症発生動向調査週報

平成27年8月19日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第33週 2015年 8月 10日 ~

2015年 8月 16日

設置定点数 48 ケ所

インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~
インフルエンザ																														

報告定点数 31 ケ所

設置定点数 31 ケ所

小児科

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~						
RSウイルス感染症																														
咽頭結膜熱	2	1				2	1			6	1	1	1						1	1			1							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2		1		8					11			1	1	1	3	2			1	1	1								
感染性胃腸炎	4		4	3	8	4	14	23		60	4	14	8	7	6	3	4	3	3	2	4	1	1							
水痘	1			1				4	1	7			4		1					2										
手足口病	22	9	9	4	5	6	12	21	1	89	8	36	17	10	5	4	3	3	1	1	1									
伝染性紅斑	3		1		1			2		7			1	1	1	1	1			2										
突発性発疹	2		1		1			2		6	3	3																		
百日咳					1					1							1													
ヘルパンギーナ		1	3	3	8	1	5	8		29	2	12	7	2	2	2	1	1												
流行性耳下腺炎			2			1				3			1									1								

国立感染症研究所によると、全国の劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告(全数報告)が8月9日までに279例あり、昨年一年間の報告数(273例)をすでに上回り、平成11年以降最多となっています。神戸市も8月16日までに既に昨年と同数(5例)の報告があります。通常は細菌が存在しない組織(血液、筋肉、肺等)にレンサ球菌が侵入することにより発症します。症状の進行は急激かつ劇的で、発症後数時間以内に手足等の筋肉周辺組織の壊死や多臓器不全からショック状態に陥り、死に至ることもあります。感染経路は不明な場合が多いですが、患者の傷口への直接接触でも感染するため、手洗いやうがいと併せて傷を清潔に保つことが重要です。

報告定点数 10 ケ所

設置定点数 10 ケ所

眼科

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~	
急性出血性結膜炎																														
流行性角結膜炎	2		1			1			2	6												1			1	3			1	

(定点機関から報告されたその他の感染症情報)

今週の報告はありません。

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は0人です。

【市内の感染症の状況】

今週の手足口病の定点あたりの患者数は、2.87人(先週:7.55人)で、警報レベル開始基準値(5人)を下回っていますが、お盆の医療機関の休診により報告が少なかったことが影響しています。引き続き今後の動向に注意が必要です。

【感染症発生動向調査事業実施要綱】

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/trend/img/youkou110729.pdf>

※病原体サーベイランスとは、流行する感染症の病原体を詳しく調べて、その特徴や流行状況を監視するシステムです。解析結果は、「神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況」をご覧ください。

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向 \[検索\]](#)

または、神戸市ホームページ上段のバナーを以下のとおりたどってください。

(トップページ > くらし・手続き > 健康・医療 > 感染症・予防接種 > 感染症発生動向)

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2015年8月19日 作成

全数把握対象感染症発生状況 (四類感染症 デング熱)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	20代	2015年8月4日	2015年8月8日	2015年8月10日	デング熱	血清での非構造蛋白 (NS1) の検出	発熱、骨関節痛、発疹、血小板減少、白血球減少等	蚊咬傷による感染	

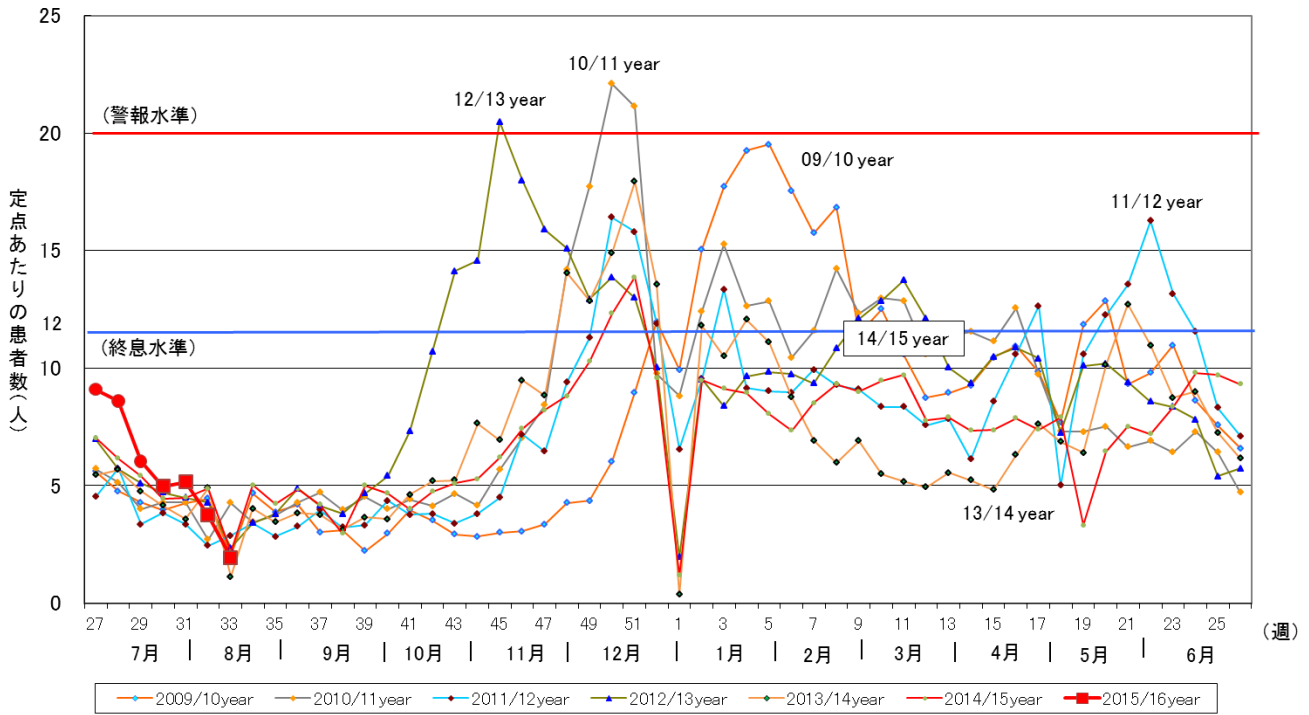
全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 アメーバ赤痢)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	60代	2015年7月23日	2015年7月28日	2015年8月18日	腸管アメーバ症	血清抗体の検出 病理組織検査	下痢、粘血便、腹痛、発熱等	経口感染	

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
コクサッキーウイルスA6型	咽頭拭い液	垂水	1歳9か月男児(8/5採取、39.1℃、手足口病)
	咽頭拭い液	中央	11か月女児(8/4採取、39.2℃、手足口病)
	咽頭拭い液	東灘	1歳2か月男児(8/10採取、38.6℃、手足口病)
	咽頭拭い液	東灘	4歳2か月男児(8/10採取、39.0℃、手足口病)
コクサッキーウイルスA9型	咽頭拭い液	東灘	1歳3か月男児(8/6採取、発熱なし、手足口病)
	咽頭拭い液	東灘	2か月女児(8/11採取、38.7℃、手足口病)
エコーウイルス16型	髄液・便・咽頭拭い液	中央	1か月男児(8/11採取、39.0℃、無菌性髄膜炎)
デングウイルス1型	血清	中央	25歳女性(8/10採取、39.5℃、デング熱疑い)、フィリピンへの渡航歴あり。
デングウイルス3型	血清	中央	60歳男性(8/7採取、39.6℃、デング熱疑い)、タイ・ミャンマーへの渡航歴あり。

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数

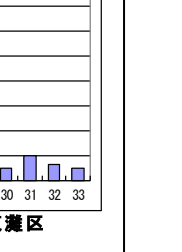
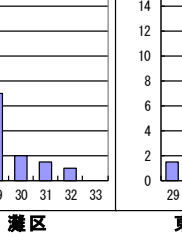
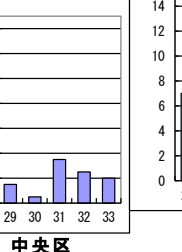
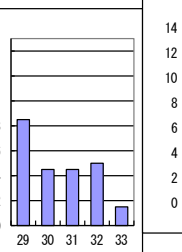
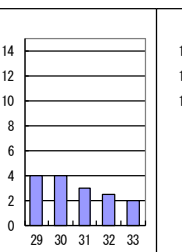
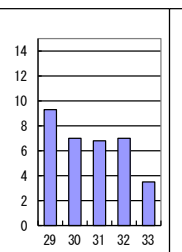
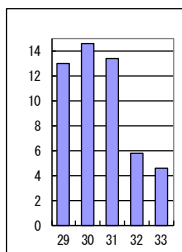
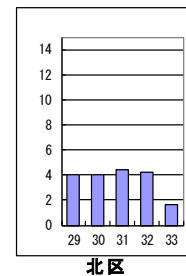
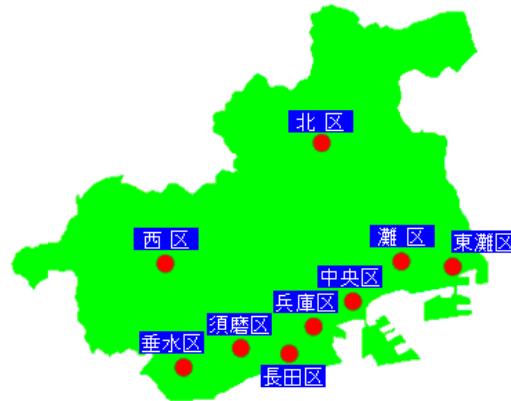
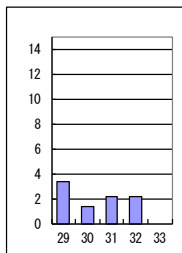


疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 29 週 平成27年7月13日

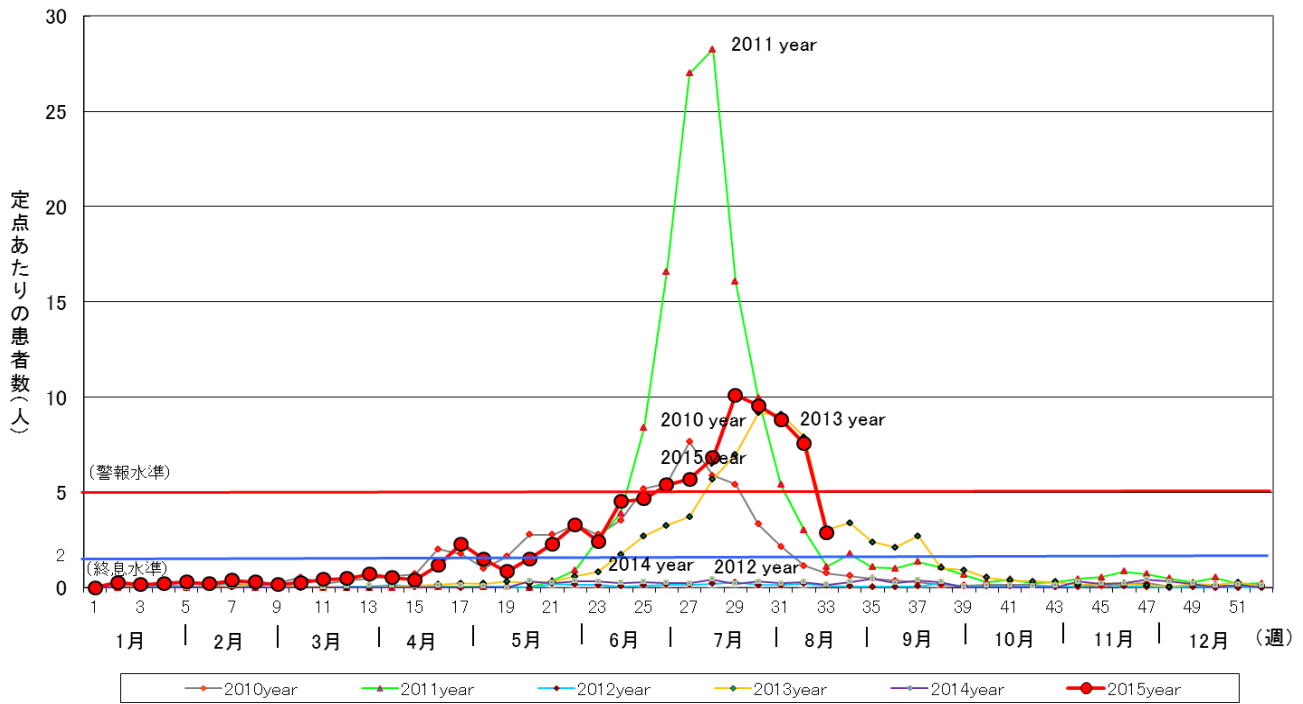
～ 第 33 週 平成27年8月16日

感染性胃腸炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継時的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりの手足口病報告数

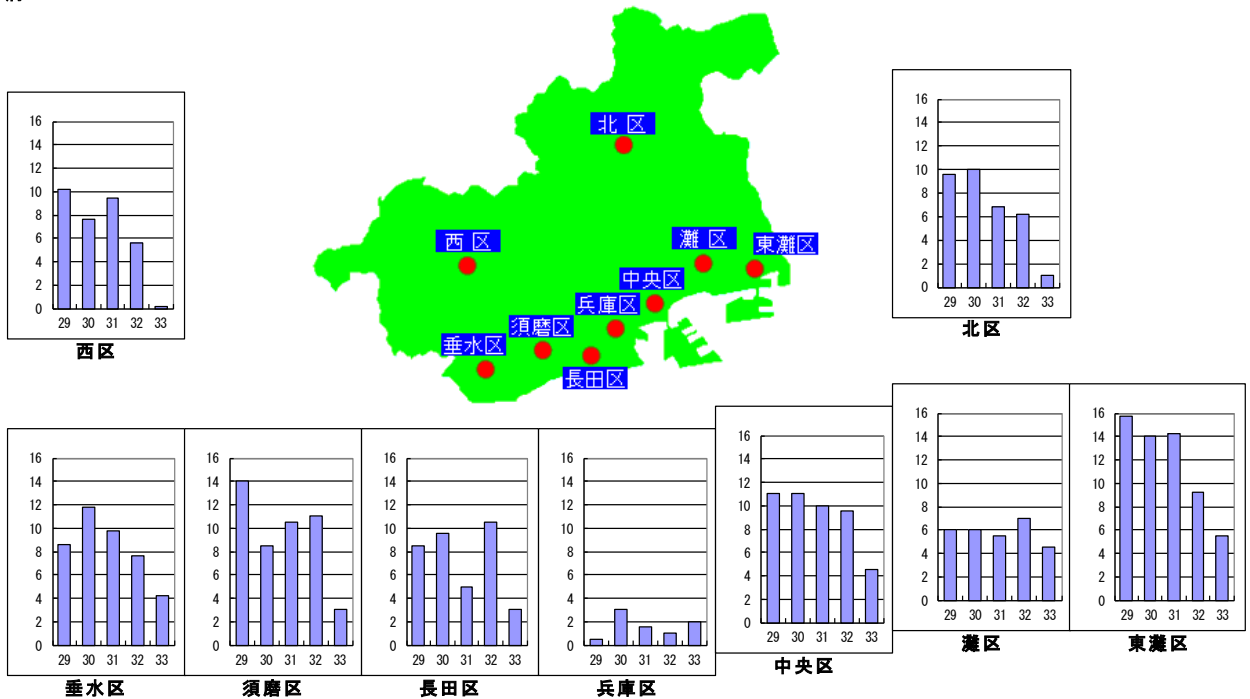


疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 29 週 平成27年7月13日

～ 第 33 週 平成27年8月16日

手足口病



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継時的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。